

（仮称）紫波町城山花見展望公園創生プラン

～頻発する熊来襲による城山公園の立入禁止措置の解決策として～

産業政策監 農村政策フェロー
城山に新たな里山を創る会会長

小川勝弘

本日本話しする内容

- 城山公園の現状と課題
- 熊の襲来ルート
- 紫波町の計画における城山公園の位置づけ
- 城山公園の価値
- 城山新たな里山創生プロジェクト
- （仮称）紫波町城山花見展望公園創生プラン
- 眺望改善の内容と期待される効果
- 花木植栽の考え方
- プラン実現後に期待される効果

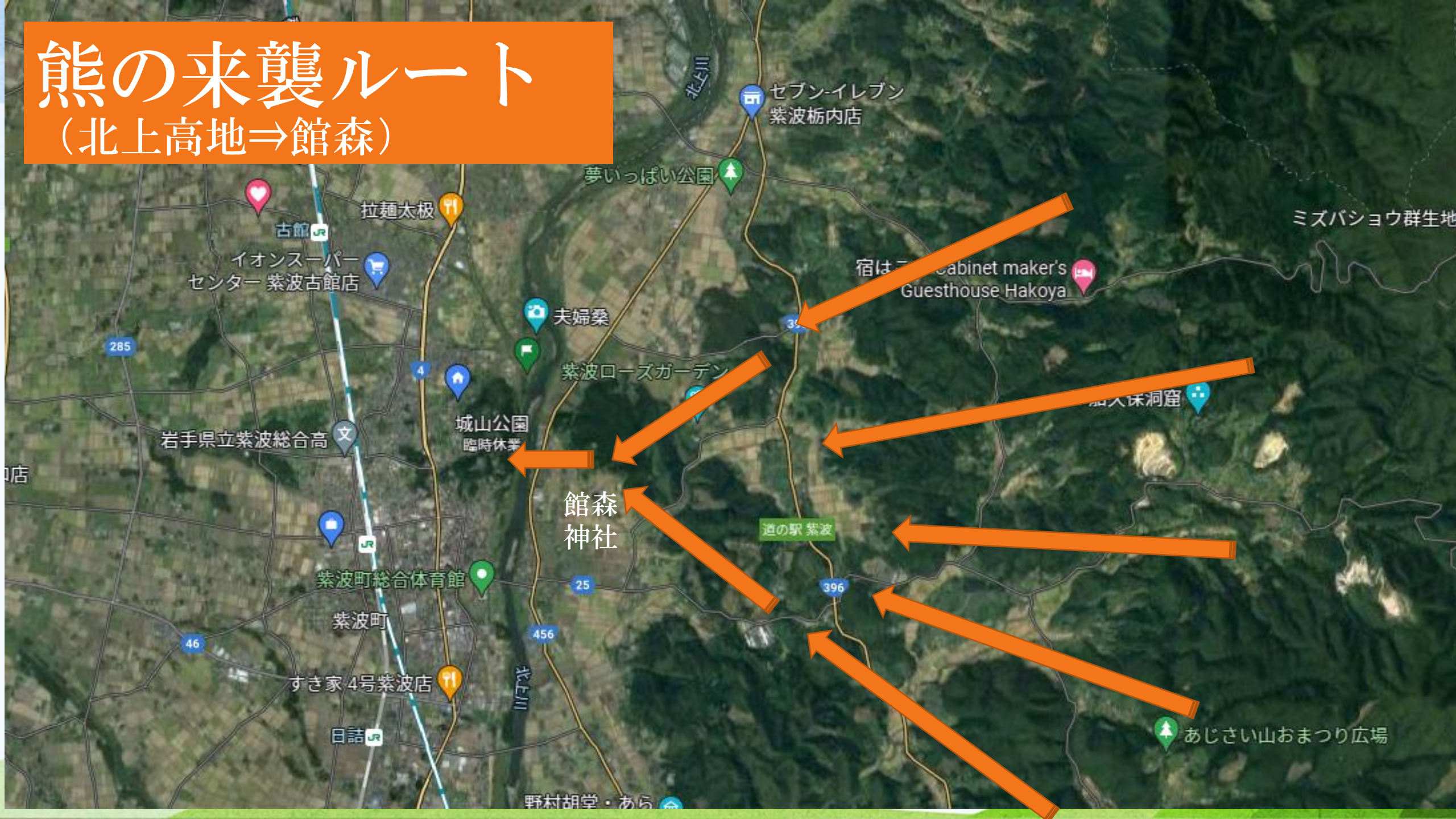
城山公園の現状と課題

- 城山はかつて畑として耕作されていたが、昭和30年代に杉が植林され、成長した杉林が公園頂上や散策道からの眺望を妨げている。
- 杉が伸びたことにより、斯波氏が250年かけて整備した曲輪が見えなくなっている。
- 城山公園の荒廃した山林は熊の通り道となり、熊の出没が頻発している。
- 最近2年間は、熊の襲来で入山禁止が相次ぎ桜ウイークも熊出没で入山禁止となっている。
- キャンプ場周辺の山林が荒廃し熊の来襲の危険がある
- 城山公園の眺望改善と熊の来襲を防ぐための対策が必要である。

熊の来襲ルート

- ①北上高地に生息している熊が山林を通過して西に移動して館森神社の杉林までやってくる。
 - ②館森神社まで来た熊は、国道456号と北上川を渡って城山公園に来る。
 - ③熊が北上川を渡る地点に中継地となる中島があるため熊は容易に北上川を渡ることができる。
また上陸ポイントとなる北上川の西岸には民有地の杉林があるため、熊が安心して上陸できる。
 - ④城山公園の山林に入り込んだ熊は、山林伝いに城山公園北側と南側に移動する。
 - ⑤南側に移動した熊は、吉兵衛館、来迎寺北側の山林を經由し国道4号までやってくる。
 - ⑥国道4号を渡った熊は、勝源院、日詰小学校、中央公民館、朝日田住宅に移動する。
- ★町中央部への熊の来襲を防ぐには、この熊の来襲ルートとなっている荒廃した山林を伐採し新たな観光名所として(仮称)紫波町城山花見展望公園を創生することが有効である。

熊の来襲ルート (北上高地⇒館森)



熊の来襲ルート (館森⇒北上川⇒城山公園)



紫波町の計画における城山公園の位置づけ

①第3次紫波町観光振興計画(抜粋)①

施策1 新たな観光資源の発掘、整備

■身近な自然からの発掘

- 例えば1本の樹木でも美しく花が咲く瞬間を捉えると、そこに新たな価値と人々の目を引き付ける魅力が生まれます。SNSを通じてその魅力を発信すれば地域の人しか知らないことが逆に魅力となって「まだ知られていないビュースポット」として興味や関心を引くことも可能です。地域住民の知る名所を積極的にPRしていく取り組みを行います

■歴史・文化遺産の魅力発信

- 町内に数多く点在する史跡や文化財は、観光の面においても貴重な財産です。歴史ファンばかりでなく、「わが町を知る」という活動としても史跡・文化財の由来や周遊する観光コースの紹介は大きな意義があります。

観光交流協会や歴史調査団体と連携しながら、IT機器等の活用も含め多様な手段で町の史跡・文化財の魅力を発信します。

- 歴史的・文化的に価値のある観光資源が、良好な状態を維持できるよう町と関係団体が連携し、保全・改修について取り組みます。

紫波町の計画における城山公園の位置づけ

第3次紫波町観光振興計画(抜粋)②

施策2 紫波町の魅力向上

■四季をとおして楽しめる紫波町の魅力向上

- 四季折々に自然の恵みを感じることができる豊かさが町の観光資源になっています。桜、ミズバショウ、アジサイなどの花見や、果樹やソバ畑の景観も見ごたえがあり、紫波町の自然や各季節のイベントなど、紫波町の四季の情報を発信します。

施策4 季節ごとのイベント

■城山桜ウィークをはじめとする花見イベント

- 町内の観光において花見シーズンは多数の観光客が来訪する時期です。最大の花見スポットである城山公園をはじめ、五郎沼、滝名川沿い、赤石神社などの見ごろ情報を発信し、受け入れ態勢の整備に取り組みます。

紫波町の計画における城山公園の位置づけ

紫波2100 2021紫波環境・循環基本計画

第3章 未来への取り組み 第2節 環境創造のまちづくり

◎行動の方針 その1 里地里山の保全と創造

- ・里地里山に人の手が入り、活用されることにより多くの生態系が生まれ、生物の多様性が保全されている状態を目指す。人間と野生生物の生活圏の分離も図られていくことを目指す。すべての生き物と自然を共有し、共生できる環境を保全する。

◎未来への取り組み

■町(行政)の取り組み

- ・町有林などを利用して里山の活用を図る。
- ・身近な環境について現状を把握していく。
- ・ブラックバス、オオハンゴウソウなどの特定外来種の対策を実施する。

城山公園の価値

【眺望点】 平野部の孤丘のため360度の眺望が可能で北上高地、岩手山、奥羽山脈が一望できる。

盛岡市～花巻市まで見渡せて盛岡市の夜景も見れる。

【桜の名勝地】 北上の展勝地につぐ県内2番目の桜の名勝地として知られている。

【史跡】 斯波氏が250年かけて造営した東北最大級の山城で城山公園北側と西側の荒廃した民有林に曲輪が残っている。

【キャンプ場】 公園内に車で入れるキャンプがある。

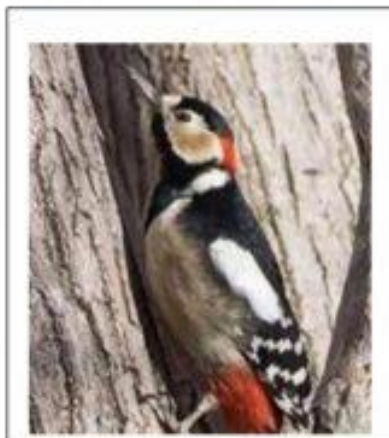
【野鳥観察】 渡り鳥、水鳥、猛禽類など約80種類の野鳥が見られる。盛岡市と花巻市の中間で交通アクセスが良くトイレ遊歩道が整備されて野鳥観察スポットとして適している。

【雲海】 条件が揃うと雲海がみれる。

紫波町城山公園冬鳥観察会

紫波町在住の愛鳥家藤澤幸代さんの説明を聞きながら城山公園を散策しながら冬鳥を観察します。

城山公園にはこんな鳥がいます。運が良ければ観察できます



◇開催月日 2月8日(土) 7:30~9:30

荒天(雪)の場合は中止します。(主催者は集合場所で待機しています)

◇集合場所 城山公園 第1駐車場(頂上)

◇対象 子供から大人まで(小学生以下は保護者同伴)

◇参加費 無料 事前申し込み不要

◇持ち物 暖かい服装、ブーツ、長靴でお越しくください。あれば双眼鏡をお持ちください。

◇お問い合わせ先 城山に新たな里山を創る会

電話 080-5559-2274 会長 小川勝弘

城山公園から見える雲海



城山新たな里山創生プロジェクト

※荒廃した杉林を伐採しかつての眺望を取りもどすこと

城山に新たな里山を創る会（平成 31 年 2 月 22 日設立） 城山周辺のシニア 9 名

（目的）

第 3 条 本会は、紫波町城山公園の北側にある荒廃した山林を新たな里山として整備し、里山を使って宮沢賢治の精神の学習、環境学習を実施するとともに、桑を使った加工品の開発により農業の 6 次産業化を進め、地域の遊休農地の有効活用を図ることを目的とする。

（新たな里山とは、宮沢賢治思惟の森、桑と健康の森、こどもの森、環境学習の森、山椒とアゲハの森、香りの森等の多面的機能を持つ里山のことをいう）

プロジェクトの取組状況

<令和元年度>

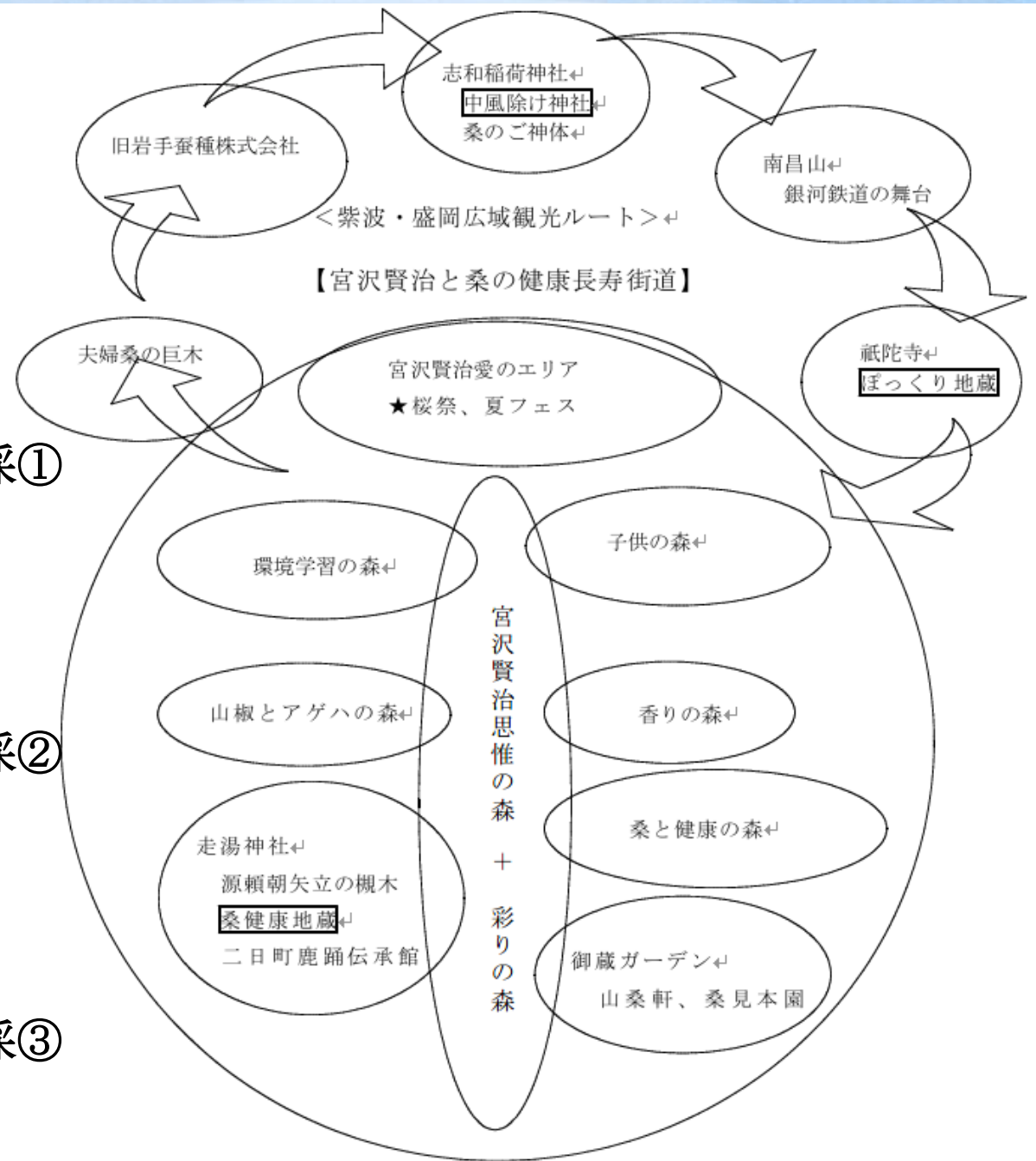
- ・紫波町地域づくり活動補助金
シンポジウム開催
- ・紫波町緑の募金事業 御蔵坂景観改善・荒廃林伐採①
盛岡振興局事業 夫婦桑公園整備

<令和2年度>

- ・紫波町緑の募金事業 御蔵坂景観改善・荒廃林伐採②
名木保全、道標設置

<令和3年度>

- ・紫波町緑の募金事業 御蔵坂景観改善・荒廃林伐採③



○2019年5月 城山公園に熊出没



御蔵ガーデンに出没した熊

日中に歩き回るため、城山周辺で目撃情報が多発し城山公園が立入禁止となる

○2019年11月 御蔵坂周辺の熊の誘引物となる栗、クルミの木を伐採
熊の通り道となっている荒廃林を伐採

○2020年以降 城山公園北側での熊の目撃情報はなくなっている。

宮沢賢治の作品をモチーフにした道標



樹種記す名札設置 古道散策楽しんで

城山に里山創る会

紫波

城山に新たな里山を創る

会（小川勝弘会長）は、紫波町二日町の旧奥州街道から城山公園の頂上に至る古

道「御蔵坂」に、大木の樹種を記した名札4基を設置した。散策してより楽しめる場になればと願う。

木製の名札は高さ1・5〜1・8メートル。宮沢賢治の短編童話「シグナルとシグナレス」に出てくる信号機をモチーフにデザインした。

5000メートルの古道に15メートル間隔で立つメタセコイア、ヒマラヤスギ、ミズキ、コブシの4本のそばに設置した。

同会は、城山公園周辺の森林を整備するため昨年3月に結成された。同年12月から木の伐採など御蔵坂の環境整備に取り組む。今後は一帯に、植物と親しむ「子ども森」、香木を植栽する「香りの森」、水鳥やチヨウを観察できる「鳥蝶の森」などエリア別に森づくりを進める予定だ。

小川会長（62）は「散策しながら名木に親しみ、美しい景色を味わってほしい。周辺の森林整備の取り組みも見守ってほしい」と願う。



御蔵坂に設置した木の名札

岩手日報論壇掲載記事

近年、人里にクマが出没し人の生活を脅かす場面が多くなってきた。本紙でも本県のクマ情報が連載されており、県民の関心が高い問題である。

クマが人里に出没するのは餌となる山の木の実の不足、ハンターの高齢化で狩猟する人の減少による生息数の増加、里山の荒廃によるクマと人の生活空間の接近などが指摘されている。

筆者はクマ対策の1つ



してクマとの接触となる新たな里山をつくるのが有効と考えているので、現在取り組んでいる活動を紹介したい。

紫波町城山公園は、初夏になると毎年北上川を渡つ

佳良の安全な生活が脅かされたことは言うまでもない。

城山周辺のシニアの集まりで杉の木が伸びすぎて城山からの眺望がきかなくなつた。木を伐採し昔の眺望

クマ対策の里山づくり

小川 勝弘

て北上高地からクマがやってくる。

3年前に城山公園に来たクマは、日中に歩き回るため目撃情報が多発し、城山公園への立ち入りが禁止される事態となった。幸い人的被害はなかったが、周辺

を取り戻したいという話があり「城山新たな里山創生プロジェクト」として活動を開始した。

プロジェクトは、眺望を害しクマの通り道にもなっている荒廃した杉林を伐採し、その跡地に「子供の森」

「香りの森」「宮沢賢治の森」をつくることというものである。

会発足後3年かけて走湯神社付近から城山公園の頂上に続く「御蔵坂」周辺の荒廃林を伐採し、眺望がき

く散策道に整備してきた。クマの通り道となっていた荒廃林と餌となっていた栗やクルミの木を伐採したことにより、城山公園のクマの目撃情報は、ほぼなくなつてきている。

散策道が快適になつたこ

とにより、高齢のご夫婦、トイルランニングする人、保育園児たちの散歩と多くの人が通るよつになつた。

散策道に宮沢賢治のシグナルと電信柱をモチーフにした道案内と巨木名を記した標柱を立てた。散策しながら岩手山と盛岡の街並みを一望しメタセコイヤやミズキの巨木に触れることができる。散策道の荒廃を防ぐためにも皆さんにぜひ散策していただきたい。

新たな里山づくりは、始まつたばかりで完成までにはまだまだ時間がかかる。

木の伐採は「間伐ボラシテ、アいわて」の皆さんのご協力、整備経費は「緑の募金」の助成をいただいている。

荒廃した山林を新たな価値を持つ里山に再生し次の世代に引き継ぐことはシニア世代の責務ではないかと考えているが、会員の夢は広がるものの高齢化で体力がついていない。新たな里山づくりに関心と体力がある方々に協力をいただければ幸いである。

(紫波町 紫波町農村政策フェロー・城山に新たな里山を創る会会長 63歳)

紫波町城山花見展望公園創生プラン

＜プランの基本方向＞

① 荒廃林を伐採し眺望改善と熊の来襲ルート遮断と隠れ場所を無くする

② 四季の花木を植栽して春から秋まで花を楽しめる公園にする

春：レンギョ、ユキヤナギ、桜（八重桜、枝垂桜、四季咲き）、花桃

夏：ウツギ、アジサイ、キンシバイ、ムクゲ

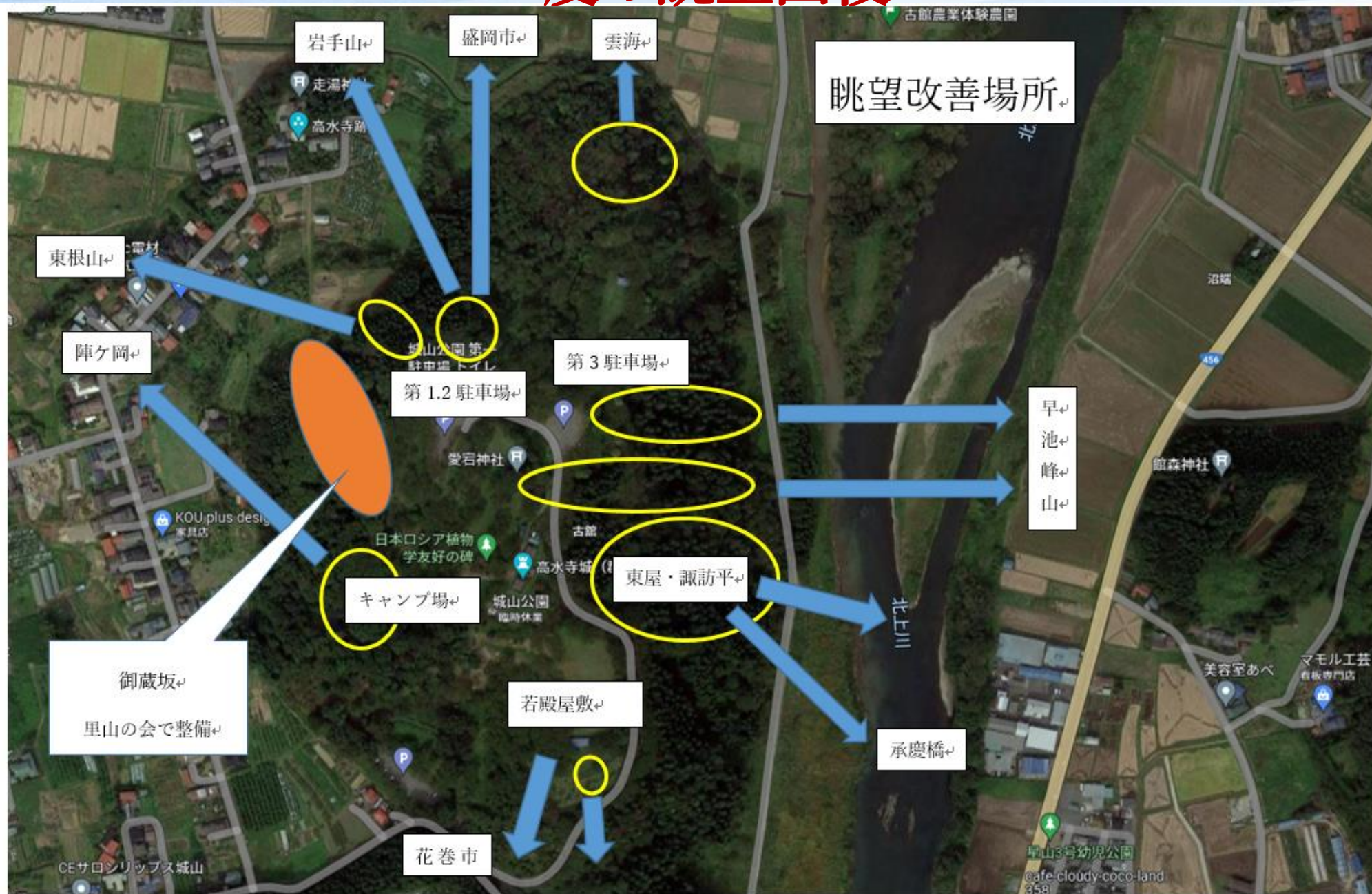
秋：萩

③ 町有地と民有地を分けて整備する

紫波町：公園東側・北側の町有地を整備

城山に新たな里山を創る会：公園北側の民有地を整備

360度の眺望回復



眺望改善の内容と期待される効果

眺望改善優先順位	熊対策優先順位	改善場所	現状の課題	改善内容	期待される効果
①	④	第1.2駐車場	<p>第1駐車場北側の桜や杉が伸びすぎて岩手山が見えなくなっている。</p> <p>第2駐車場の周辺の桐の大木が眺望を遮っている。</p>	<p>岩手山と東根山の眺望を遮っている第1駐車場北側の杉林を伐採するとともに駐車場周辺の桜の木を間引く、また第2駐車場周辺にある大木を伐採する。</p>	<p>第1駐車場から岩手山、盛岡市の町の遠景や夜景がよく見えるようになる。</p> <p>また東根山が一望できるようになる。</p> <p>障害があり歩行が困難な人でも駐車場からの眺望を楽しめる。</p>
②	⑤	第3駐車場	<p>第3駐車場東側のケヤキと駐車場下の桜の木が伸びて、早池峰山と北上川が見えなくなっている。</p>	<p>第3駐車場からの眺望を遮っているケヤキの木と駐車場下の桜の木を伐採する。</p>	<p>第3駐車場から早池峰山と北上川が眺望できるようになる。</p> <p>障害があり歩行が困難な人でも駐車場からの眺望を楽しめる。</p>
③	⑥	本丸愛宕神社東側 (散策道上部)	<p>紫波町城山公園は岩手の三高峰である岩手山、早池峰山、姫神山を見ることができるところに位置している。</p> <p>しかしながら頂上東側の杉と桜の木が伸びすぎて早池峰山が見えなくなっている。</p>	<p>早池峰山の眺望を妨げている頂上の桜の木と道路下の杉の木を伐採する。</p> <p>杉伐採跡地にモミジ、アジサイを植栽する。</p>	<p>城山公園の本丸を周回すると岩手県の三高峰が一望できるようになる。</p> <p>夏のアジサイ、秋の紅葉が楽しめるようになる。</p>

眺望改善 優先順位	熊対策 優先順位	改善場所	現 状 の 課 題	改善内容	期待される効果
④	③	キャンプ場	<p>キャンプ場の周辺が木が生い茂って眺望がきかないとともにキャンプ場周辺に熊が来襲する危険がある。</p> <p>キャンプ場周辺の桜の木が衰弱している。</p>	<p>キャンプ場周辺の木を伐採し眺望を改善するとともに熊の通り道を遮断する。</p> <p>キャンプ場周辺の桜は伐採し枝垂れ桜を植栽する。キャンプ場下の伐採跡地に八重桜を植栽する。</p>	<p>安心してキャンプが出来るようになる。</p> <p>東根山、南昌山の奥羽山系と陣ヶ岡遺跡がよく見えるようになる。</p> <p>ソメイヨシノが終わった後に枝垂れ桜、八重桜の花見が出来る。</p>
⑤	①	東屋・諏訪平 (散策道下部)	<p>本来眺望がよく眼下に北上川を望む場所に東屋と諏訪平があるが、周辺の山林が伸びすぎて北上川が見えなくなっている。</p>	<p>東屋と諏訪平周辺の木を伐採し北上川が見えるようにする。</p> <p>杉伐採跡地にはモミジとアジサイを植栽する。</p>	<p>眼下に北上川を見下ろせるようになり、白鳥が下を飛行するのが見られる。承慶橋の遺跡が見えるようになる。</p> <p>夏のアジサイ秋の紅葉が楽しめるようになる。</p>
⑥	②	公園北東部の 散策道	<p>条件が揃うと城山公園北側で雲海を見ることが出来るが、公園北東部の散策道は木が茂っていて雲海がよく見ない。</p>	<p>城山公園北東部の散策道からの眺望を妨げている栗、桜の木を伐採する。</p>	<p>雲海がきれいに見えるようになり城山公園の新たなビュースポットとなる。</p> <p>また北上川に集まる水鳥と水鳥を狙う猛禽類の野鳥観察スポットができる。</p>
⑦	⑦	若殿屋敷	<p>花巻方面に綺麗に蛇行した北上川が見られるが、斜面に大木があり北上川の眺望を遮っている。</p>	<p>斜面に生えている大木を伐採する</p>	<p>花巻方面の景観が改善し、眼下に蛇行して美しい北上川を見下ろせるようになる。</p>

花木植栽の考え方

- ①四季の花木を植栽して春から秋まで花を楽しめる公園にする。
- ②曲輪周囲には低樹高の花木を植栽し曲輪を強調する。
- ③高所から見下ろせる場所は高樹高の花木を植栽し立体感と広い空間を強調する。

地形	植栽場所	植栽する花木と楽しみ方のポイント
曲輪周囲	御蔵坂	春：コデマリ、 夏：アジサイ、 秋：萩
	本丸、第1.2駐車場	春：レンギョ、 夏：キンシバイ 秋：萩
	姫御殿、第3駐車場	春：ユキヤナギ、 夏：アジサイ、 秋：萩
	若殿屋敷、第4駐車場	春：レンギョ、 夏：キンシバイ、 秋：萩
高所から見下ろせる場所	御蔵坂	花桃（桜の花が終わった後に桃源郷として楽しむ）
	キャンプ場	枝垂れ桜、八重桜、四季桜（ソメイヨシノの後の桜の花見を楽しむ）
	東屋、諏訪平	モミジ、アジサイ （夏は散策しながらアジサイを楽しみ、秋は眼下に広がる紅葉を楽しむ）

散策道に花桃を植えた桃源郷（御蔵坂、城山散策道）



レンギョウ、ユキヤナギで曲輪を強調





夏のムクゲ



秋の萩の回廊



東屋、諏訪平からの紅葉



ロールモデル 福島県 花見公園(5ha) ⇒ 紫波町城山花見展望公園(22ha)

もともと花木農家の個人的な山だったが、写真家の故・秋山庄太郎氏が毎年のように訪れ「福島に桃源郷あり」と称賛した「花見山公園」は、今では全国各地からたくさんの人々が訪れる福島県屈指の観光名所となっている。



プラン実現後に期待される効果 「暮らし心地の良いまち」実現

＜紫波町城山花見展望公園として新たに観光名所ができる＞

- ・城山公園の最大の長所である眺望が改善され、360度見渡せ、盛岡市の夜景も見れる県内最高の眺望点となる。
- ・春の桜の名勝地にとどまらず、春から秋にかけて花を楽しめる名勝地として花の観光地となる。
- ・高水寺城の曲輪が明確に見えるようになり東北最大級の山城として史跡の価値があがり歴史の観光資源となる。
- ・新たなビュースポットとして四季の花、野鳥、雲海をPR出来るようになる。
- ・安心してキャンプが出来るようになり、市街地近郊で眺望を楽しめるキャンプ場として魅力が向上する。
- ・杉の荒廃林を伐採することにより、本来の落葉広葉樹の生態系が復活し生物の多様性が進む。

＜熊の来襲頻度が低下し住民の安全が確保される＞

- ・城山公園の荒廃林を伐採することにより、北上高地からの熊の来襲ルートが遮断されるとともに熊の隠れ場所が無くなり、城山公園や古館上町地区、七久保地区、日詰朝日田地区の住民の安全が確保される。
- ・城山公園の閉鎖が回避され都市公園としての役割が果たされる。